

## リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)

## 必修科目(リハビリテーション科学学位プログラム\_博士前期課程)

| 科目番号    | 科目名               | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限  | 教室     | 担当教員                            | 授業概要  | 備考  |
|---------|-------------------|------|-----|--------|------|------|--------|---------------------------------|---|---|
| OAS0602 | リハビリテーション方法論基礎I   | 1    | 1.0 | 1      | 春AB  | 水7,8 |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任 | 研究法の基礎として、研究デザイン、学術論文の要件、臨床研究の倫理、実験計画法、調査法、観察法、面接法、質的研究法、事例研究法、文献研究法、検査法などについて概説する。   |   |
| OATE101 | リハビリテーション方法論基礎II  | 2    | 1.0 | 1      | 春C   | 水7,8 |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任 | 目的・ねらい:研究テーマの設定、文献研究を中心に先行文献要約、資料・データの収集・解析、論文の書き方・まとめ方、プレゼンテーションの方法等について理解し、抄録を作成して全体発表会で発表することができる。<br>授業概要:研究能力・論文作成能力を高めるために、担当教員の指導のもとに文献研究を行う。主に研究テーマの設定、文献資料の収集・解析、論文の書き方・まとめ方、プレゼンテーションの方法等について指導を受ける。また、研究成果について学会形式に準じて発表を行い、プレゼンテーション方法について実習し、学習課題について理解を深める。研究テーマは修士論文の作成に向けたものであることが望ましい。研究指導は、2~3名の学生について1教員が対応する個別指導の形式で行う。担当教員と指導日を相談して決める。担当教員の研究指導領域等の概要は下記(研究指導)欄の通り。<br>キーワード:生涯発達、研究方法、研究発表 | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。                |
| OATE102 | リハビリテーション方法論基礎III | 2    | 1.0 | 1      | 秋AB  | 水7,8 |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M1担任 | 目的・ねらい:修士論文研究のテーマの設定、研究計画、資料・データの解析方法等についてグループ指導で検討を深め、研究の意義、研究方法の適切さ、具体的な実施可能性等などについて、充分論考した研究計画を作成することができる。<br>授業概要:第1回目に、2年次の研究テーマや研究計画について学会に準じた形式で発表する(1年次研究計画発表会)。第2回目以降、修士論文の作成を念頭において、研究テーマの設定や方法、研究計画などについてグループ指導を行う。グループごとに数名の教員が担当し、学生を交えて多面的に議論を深め、研究計画等の充実を図る。   | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。                |
| OATE103 | リハビリテーション研究法I     | 2    | 1.0 | 2      | 通年   | 随時   |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M2担任 | 目的・ねらい:修士論文の指導を通じて、研究デザインを考えるとともに、研究の倫理的な配慮についても学ぶことを目的とする。<br>授業概要:生涯発達科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。<br>キーワード:修士論文、研究倫理審査  | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。                |
| OATE104 | リハビリテーション研究法II    | 2    | 1.0 | 2      | 通年   | 随時   |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_M2担任 | 目的・ねらい:修士論文の指導を通じて、調査・実験の実施及びその結果の集計・分析を行い、実践的な研究能力を身につけることを目的とする。<br>授業概要:生涯発達科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。<br>キーワード:修士論文、集計、分析  | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。                |
| OATE105 | リハビリテーション概説       | 1    | 2.0 | 1      | 春AB  | 土4,5 | 2F講義室9 | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:障害児・者に対するリハビリテーションの理論と実践について、横断的・総合的な視点で各分野の概要を理解し、支援のあり方について理解を深める。<br>授業概要:医学、心理学、教育学、社会学等の幅広い観点から、リハビリテーションの発展過程と現代社会における定位を解説するとともに将来へのあり方を展望し、リハビリテーションの理念と実際について概説する。  | 01EJ501と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |
| OATE106 | リハビリテーション研究基礎論    | 1    | 1.0 | 1      | 春AB  | 水    | 2F講義室9 | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:リハビリテーション関連分野における修士論文作成のために研究法の概要を理解し、論文作成について理解を深める。<br>授業概要:リハビリテーション分野の研究法の基礎として、研究デザイン、学術論文の要件、臨床研究の倫理、実験計画法、調査法、観察法、面接法、質的研究法、事例研究法、文献研究法、検査法などについて概説する。<br>キーワード:生涯発達、生涯発達科学、研究デザイン  | 01EJ503と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |

| 科目番号    | 科目名           | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員                            | 授業概要   | 備考  |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-----|----|---------------------------------|--|---|
| OATE107 | リハビリテーション特別研究 | 2    | 1.0 | 2      | 通年   | 随時  |    | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:修士論文の指導を通じて、これまで得られた結果をまとめて、先行文献を参照しながら考察を加え、修士論文を完成させることを目的とする。<br>授業概要:リハビリテーションに関する研究を、文献研究、実験実習などを通して具体的に指導する。<br>キーワード:修士論文、論文執筆、最終発表会 | 01EJ502と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |

専門科目(リハビリテーション科学学位プログラム\_博士前期課程)

| 科目番号    | 科目名          | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限  | 教室     | 担当教員                      | 授業概要  | 備考   |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------|--------|---------------------------|---|--|
| OATE201 | 医学的リハビリテーション | 1    | 1.0 | 1・2    | 春C   | 火7,8 | 2F講義室9 | 山田 実                      | 目的・ねらい:さまざまな障害の医学的背景についての理解を深め、包括的なリハビリテーションを実践する能力を身につけることを目的とする。<br>授業概要:医学的リハビリテーションをめぐる今日的課題について、医学生物学的側面から制度的な問題まで多面的に検討し、今後のリハビリテーションのあるべき姿を考察する。<br>キーワード:リハビリテーション医学、精神疾患、神経疾患、当事者、チーム医療、連携   | 01EJ601と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。  |
| OATE202 | 特別支援教育特講     | 1    | 1.0 | 1・2    | 春C   | 金7,8 | 2F講義室9 | 川間 健之介, 佐島 毅              | 目的・ねらい:本講義では、特別支援教育の理念及び歴史、社会的・制度的・経営的事項を含めた現状を踏まえ、障害種別ごとの教育の基本的な考えを理解する。<br>授業概要:特別支援教育の制度、カリキュラムを踏まえて視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、及び発達障害の、その教育の理念と歴史及び現状について解説し、関連諸分野との連携について概説する。   | 01EJ602と同一。  |
| OATE203 | ダイバーシティ概論    | 1    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 集中   |        | 河野 禎之                     | 目的・ねらい:ダイバーシティに関する知識、研究動向について理解を深める。<br>授業概要:ダイバーシティ(LGBT、障害等の多様な状況に対応した社会づくり)をめぐる今日的課題について、多面的に検討し、今後のダイバーシティのあるべき姿を考察する。<br>キーワード:ダイバーシティ、LGBT、障害   | 01EJ662と同一。<br>・日程等の詳細未定。<br>決定後、筑波大学東京キャンパス在學生サイト<br>< <a href="http://www.office.of.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.of.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >で周知します。 |
| OATE204 | 職業リハビリテーション  | 1    | 1.0 | 1・2    | 春A   | 金7,8 | 2F講義室9 | 八重田 淳                     | 目的・ねらい:職業リハビリテーションの知識、研究動向、研究手法を習得する。<br>授業概要:障害をもつ人々の85%は、「働く機会さえあれば働きたい」というアメリカの調査結果がある。「働く機会」が十分に創造されていないのはなぜか?本講義では、リハビリテーションそのものへの問いかけから始まり、働くことを手段とする職業リハビリテーションの哲学、職業リハビリテーションの科学、海外における職業リハビリテーションの実践等について紹介し、職業リハビリテーション領域における具体的な研究アプローチを学習する機会を提供する。<br>キーワード:就労移行支援、競争的雇用、就労継続支援、援助付き雇用 |  |
| OATE205 | 地域リハビリテーション  | 1    | 2.0 | 1・2    | 春AB  | 木7,8 | 2F講義室9 | 小澤 温                      | 目的・ねらい:地域リハビリテーションの国際及び国内の経過を学び、地域リハビリテーションの内容と実践、その重要性を理解することにより、実践に関われるようにする。あわせて、地域福祉および地域ケア、ケアマネジメントとの関係を理解する。<br>授業概要:地域リハビリテーションのサービスシステムを検討し、現状と課題を学習する。さらに、地域福祉論と地域ケア論における地域リハビリテーションの位置づけを検討する。<br>キーワード:地域リハビリテーション、地域福祉、地域ケア、ケアマネジメント  |  |
| OATE206 | 統計学          | 1    | 3.0 | 1・2    | 春AB  | 土6,7 | 2F講義室9 | 山田 実, 川間 健之介, 八重田 淳, 佐島 毅 | 目的・ねらい:基礎的な統計処理能力の向上を目的とする<br>授業概要:記述統計及び推測統計の基礎を学び、研究デザインに応じた統計解析の手法を選択する力を養う。<br>キーワード:記述統計、推測統計、尺度、データ収集、データ解析   | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。   |

| 科目番号    | 科目名             | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限  | 教室     | 担当教員                            | 授業概要   | 備考  |
|---------|-----------------|------|-----|--------|------|------|--------|---------------------------------|--|---|
| OATE301 | 特別支援教育授業論       | 1    | 1.0 | 1・2    | 秋AB  | 金7   | 2F講義室8 | 川間 健之介, 佐島 毅, 米田 宏樹             | 目的・ねらい:特別支援教育における学級経営や指導計画の立案、授業実践の方法について理解する。<br>授業概要:特別支援教育の理念に基づき、特別支援学校及び小中学校特別支援学級における学校体制、学級経営、指導計画の立案・作成と評価、授業実践の在り方の実際について考究する。<br>キーワード:学級経営、個別指導計画、授業評価、授業実践、教材研究  | 01EJ639と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。   |
| OATE302 | 特別支援教育教育課程論     | 1    | 1.0 | 1・2    | 秋AB  | 金8   | 2F講義室8 | 川間 健之介, 佐島 毅, 米田 宏樹             | 目的・ねらい:<br>・学校の社会的役割にもとづく教育課程の編成を考える。<br>・教育課程編成に関わる法令・規定等を理解する。<br>・特別支援教育における教材論・学習指導の原理等の特徴を知る。<br>・各障害別の教育課程の編成や授業実践の特徴を知り、重複障害教育における教育課程を考える。<br>授業概要:障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説する。とくに、障害の重度化、重複化あるいは多様化の中で、法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し、特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方について考究する。<br>キーワード:教育課程編成、学習指導要領、指導原理 | 01EJ640と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。   |
| OATE303 | 特別支援教育コーディネーター論 | 1    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 集中   |        | 熊谷 恵子                           | 目的・ねらい:通常の学校等に在籍する障害のある児童生徒に対する支援における特別支援教育コーディネーターの役割と専門性、およびその実際を理解する。<br>授業概要:特別支援学校および小・中学校における特別支援教育コーディネーターの役割と専門性、学校間の協力体制の構築、校内支援体制の構築、コーディネーターの育成について取りあげ講義するとともに、特別支援教育コーディネーターの実際について学ぶ。<br>キーワード:校内体制、特別支援教育コーディネーター、校内委員会、個別の指導計画、個別の教育支援計画   | ・日程等の詳細未定。<br>決定後、筑波大学東京キャンパス在學生サイト<br>< <a href="http://www.office.of.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.of.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >で周知します。 |
| OATE304 | 障害者福祉論          | 1    | 1.0 | 1・2    | 春C   | 木7,8 | 2F講義室9 | 小澤 温                            | 目的・ねらい:障害者福祉の理念、思想、歴史の流れを理解する。そして、障害者の生活実態を踏まえて、障害者自立支援法等の諸制度を理解する。<br>授業概要:障害および障害者の社会福祉学における概念を理解し、障害者福祉の理念、思想、歴史を理解する。さらに、障害者の生活実態とその生活を取り巻く環境を理解する。障害者総合支援法と関連する諸制度に関する理解を深め、障害者支援に関して学習する。<br>キーワード:障害者福祉、障害者施策、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害   |   |
| OATE305 | 職業指導論           | 1    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時   |        | 八重田 淳                           | 目的・ねらい:障害児の職業指導に関する必要な知識を取得し、学校卒業後の職業生活に関する種々の制度等について理解する。<br>授業概要:障害児・者の雇用と就労に関する国内外の動向と法制度の概要、就労支援サービス利用者のニーズ、就労支援・職業リハビリテーション関連機関と関連専門職の役割と機能、就労支援のプロセスと就労支援技術、医療・教育分野との連携について述べる。<br>キーワード:職業指導、キャリア開発、キャリア教育  | 01EJ643と同一。   |
| OATE306 | リハビリテーション事例研究   | 2    | 2.0 | 1・2    | 秋AB  | 土6,7 | 2F講義室9 | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:事例報告やディスカッションを通じ、それぞれの専門領域における実践技術の向上、他領域の実践を知ることによりリハビリテーションへの理解を深めることを目的とする。<br>授業概要:リハビリテーションの観点から事例を検討し、リハビリテーションにおける連携の諸問題について理解を深め、相談援助のための知識・技術を修得する。<br>キーワード:事例研究、ケーススタディ、連携事例   | 01EJ618と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。   |

| 科目番号    | 科目名        | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限  | 教室     | 担当教員                            | 授業概要   | 備考   |
|---------|------------|------|-----|--------|------|------|--------|---------------------------------|--|--|
| OATE307 | 特別支援教育事例研究 | 2    | 2.0 | 1・2    | 通年   | 随時   |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:障害児・者等の事例報告やディスカッションを通じ、それぞれの専門領域における実践技術の向上、他領域の実践への包括的理解を深めることを目的とする。<br>授業概要:障害児・者等の事例を検討し、事例を中心とした各領域・職種間における連携の諸問題について理解を深めるとともに、相談援助のための知識・技術を修得する。<br>履修条件:専修免許取得予定者に限る<br>キーワード:事例研究、ケーススタディ、連携、移行支援      | 01EJ644と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。  |
| OATE308 | 視覚障害学特論    | 1    | 2.0 | 1・2    | 春AB  | 火7,8 | 2F講義室9 | 佐島 毅                            | 目的・ねらい:本講義では、視覚障害の正しい理解と、それに基づく指導・支援の方向について考える視点を明確に持つことをねらいとする。<br>授業概要:視覚障害児・者の感覚・知覚・認知の特性を概観し、医学的・心理学的視点を含めて包括的に発達、学習、教育支援の視点を学ぶ。<br>キーワード:視覚障害 弱視 盲  | 01EJ608と同一。  |
| OATE311 | 運動障害学特論    | 1    | 2.0 | 1・2    | 春AB  | 金7,8 | 2F講義室8 | 川間 健之介                          | 目的・ねらい:運動障害のある人のリハビリテーションのアプローチについて説明できる。<br>授業概要:運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、医学的・教育的・心理学的側面から学習する。<br>キーワード:運動障害、リハビリテーション  | 01EJ611と同一。  |
| OATE312 | 知的障害学特論    | 1    | 2.0 | 1・2    | 秋AB  | 金7,8 | 2F講義室9 | 小島 道生, 小澤 温                     | 目的・ねらい:知的障害に関して、教育および福祉の理念、心理的アセスメント、指導法の理論的背景と概要が理解でき、具体的な支援方法を考えることができることを目標とする。<br>授業概要:知的障害の心理や認知特性、教育課程や指導法、そして福祉制度ならびに評価や支援の実践について概説する。<br>キーワード:知的障害、認知特性、教育課程、福祉制度、支援方法  | 01EJ613と同一。<br>・講義の一部を集中講義にて実施予定。日時が決定次第、筑波大学東京キャンパス在學生サイト< <a href="http://www.office.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >に掲示します。 |
| OATE313 | 精神障害学特論    | 1    | 2.0 | 1・2    | 秋AB  | 火7,8 | 2F講義室9 | 河野 禎之                           | 目的・ねらい:統合失調症と躁うつ病に関する実践的な知識や対応能力を身に付ける。<br>授業概要:現代における二大精神障害とされる統合失調症とうつ病に関する臨床的・実践的な講義を行う。<br>キーワード:統合失調症、うつ病   |  |
| OATE314 | 高次脳機能障害学特論 | 1    | 2.0 | 1・2    | 通年   | 集中   |        |                                 | 目的・ねらい:高次脳機能障害とそのリハビリテーションについて理解する。<br>授業概要:高次脳機能障害について、まず総論として概念・方法論について、次に各論として個々の高次脳機能障害についてできるだけ具体的な事例を提示しながら概説し、研究動向とリハビリテーションについても触れる。<br>キーワード:高次脳機能障害、神経心理学、リハビリテーション  | 01EJ663と同一。<br>・日程等の詳細未定。<br>決定後、筑波大学東京キャンパス在學生サイト< <a href="http://www.office.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >で周知します。         |
| OATE315 | 健康障害学特論    | 1    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 集中   |        | 川間 健之介                          | 目的・ねらい:各種疾患や社会の諸問題についての理解を深め、リハビリテーションの実践能力を高める。<br>授業概要:健康障害を有する者および高齢者および健康障害を有する者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。<br>キーワード:脳血管障害、神経疾患、老化、高齢者   | 01EJ636と同一。<br>・日程等の詳細未定。<br>決定後、筑波大学東京キャンパス在學生サイト< <a href="http://www.office.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.tsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >で周知します。         |
| OATE316 | 高齢障害学特論    | 1    | 1.0 | 1・2    | 秋AB  | 木7,8 | 2F講義室9 | 山田 実                            | 目的・ねらい:高齢者をめぐる諸問題についての理解を深め、リハビリテーションの実践能力を高める。<br>授業概要:高齢者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。<br>キーワード:老化、高齢者、虚弱  | 01EJ637と同一。  |
| OATE317 | 発達障害学特論    | 1    | 2.0 | 1・2    | 春AB  | 火7,8 | 2F講義室8 | 熊谷 恵子                           | 目的・ねらい:発達障害を理解し、通常の学校にいる子ども達がどのように支援されるべきかについて学ぶ。<br>授業概要:発達障害を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上での特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても講義する。<br>キーワード:発達障害、学習障害(症)LD、注意欠如多動障害(症)ADHD、自閉スペクトラム障害(症) | 01EJ661と同一。  |

| 科目番号    | 科目名           | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限   | 教室 | 担当教員   | 授業概要   | 備考  |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-------|----|--------|--|---|
| OATE318 | 視覚障害学演習       | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時    |    | 佐島 毅   | 目的・ねらい:視覚障害教育、医療、福祉、リハビリテーションにおける今日的課題と、その実際における問題発見能力や問題解決能力、さらにそれを研究として深め発表する能力などを身につける。<br>授業概要:視覚障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。<br>キーワード:視覚障害 弱視 盲  | 01EJ645と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |
| OATE319 | 運動障害学演習       | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時    |    | 川間 健之介 | 目的・ねらい:リハビリテーションの実現場における問題発見能力や問題解決能力、さらにそれを研究として深め発表する能力などを身につける。<br>授業概要:運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当て、内外の文献及び実際例をもとに、教育的・心理学的側面から学習する。小児期から高齢期にいたる運動障害ははじめとする障害のリハビリテーションの今日的課題について事例及び文献を通して医学生物学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。<br>キーワード:運動障害、小児、高齢者、肢体不自由者  | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。                |
| OATE320 | 高齢障害学演習       | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時    |    | 山田 実   | 目的・ねらい:高齢期におけるさまざまな障害の医学的背景についての理解を深め、あわせてリハビリテーションに関係する医療・福祉制度や倫理的課題についても学ぶことにより、包括的なリハビリテーションを実践する能力を身につけることを目的とする。リハビリテーションに関わるさまざまな職種間の理解を深める場としたい。<br>授業概要:高齢期におけるさまざまな障害のリハビリテーションをめぐる今日的課題について、事例及び文献を通して理論的・実践的に考察する。<br>キーワード:高齢障害、虚弱、リハビリテーション   | 01EJ650と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |
| OATE321 | 発達障害学演習       | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時7,8 |    | 熊谷 恵子  | 目的・ねらい:発達障害教育、医療、福祉、リハビリテーションにおける今日的課題の観点から、子どもの観察や支援における問題発見能力や問題解決能力、さらにそれを研究として深め発表する能力などを身につける。<br>授業概要:発達障害児者の学校場面における様子を観察する時のポイントについて学んだ上で、主に教育相談室に入室した発達障害の子どもの面接(初回面接ならびに学習支援やSSTなど)に立ち会うなどし、子ども達のニーズを把握するために重要な観察ポイントを学ぶ。それを踏まえて、論文に書かれている子ども達の実態をイメージできるようにする。<br>キーワード:学習障害(症)LD、注意欠如多動性障害(症)ADHD、高機能自閉スペクトラム症ASD、発達障害 | 01EJ652と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |
| OATE322 | 社会リハビリテーション演習 | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時    |    | 小澤 温   | 目的・ねらい:社会リハビリテーションの理論と内容、方法、具体的な実践活動を理解し、実践における応用力を学ぶ。<br>授業概要:社会リハビリテーションの理論に基づいて、社会生活力を高める各種プログラムや、機会均等化、環境改善を進めるための具体的な実践方法や課題を学ぶ。<br>キーワード:社会リハビリテーション、社会生活力、ソーシャルスキル、エンパワメント、社会環境改善   | 01EJ654と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。 |
| OATE323 | 職業リハビリテーション演習 | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時    |    | 八重田 淳  | 目的・ねらい:生涯発達科学の視点による職業リハビリテーション関連研究のリサーチクエストを探り、その答えを探すための研究デザインを演習から学ぶことを目的とする。<br>授業概要:キャリアデザイン、キャリア移行支援、キャリア開発などをキーワードに、生涯発達科学における職業リハビリテーション研究方法論を演習形式により修得する。研究法に慣れ親しみ、学術論文を読める力を養い、研究計画を策定・実施するために必要な基本能力を養うために、実際に調査票を作成し、仮データに基づいた分析等を行う。<br>キーワード:リサーチクエスト、研究デザイン  | ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。                |

| 科目番号    | 科目名              | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限  | 教室     | 担当教員                            | 授業概要  | 備考  |
|---------|------------------|------|-----|--------|------|------|--------|---------------------------------|---|---|
| OATE324 | リハビリテーションカウンセリング | 2    | 1.0 | 1・2    | 春B   | 金7,8 | 2F講義室9 | 八重田 淳                           | 目的・ねらい:リハビリテーションカウンセリングの研究によって得られた知見がサービスの実践でどのように活かされているか、リハビリテーションサービスの連携役として果たすべき役割と機能とは何かについて学習する。<br>授業概要:リハビリテーションカウンセリングは、障害をもつ人々の総合的な自立生活と自己実現を総合的に支援するカウンセリング心理学の応用科学領域であり、もともとは職業リハビリテーションを総合的にマネジメントするための手法としてアメリカを中心に展開されている。したがって本講義では、アメリカの大学院リハビリテーションカウンセラー教育法を取り入れ、Scientist-Practitionerに必要なスキル習得を目指す。<br>キーワード:リハビリテーション心理学、リハビリテーションサービス管理学 |   |
| OATE325 | リハビリテーション課題研究    | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時   |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:得られた研究成果について全国規模の学会や研究会で発表し、研究論文を学術誌に投稿することで、それぞれの専門領域における研究課題について研究力向上を図る。<br>授業概要:当年度春学期開始後(2年次の院生は12月1日以降)になされた各自の関連学会等におけるの発表をもとに、その際の議論に基づいて、研究を深める。また、この発表をもとに学会誌等へ論文を投稿する。<br>キーワード:学会発表、論文の投稿  | 01EJ619と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。   |
| OATE326 | リハビリテーション英語      | 1    | 1.0 | 1・2    | 春C   | 金7,8 | 2F講義室8 | 八重田 淳                           | 目的・ねらい:リハビリテーションの領域で使われる英語に慣れ親しむことを目的とする。<br>授業概要:リハビリテーションの英語論文を効果的に読む方法、妥当な検索キーワードの選び方、英語の図表の書き方と読み方、正しい英語文献の書き方、国際共同研究の進め方、国際学会プレゼンテーションなどについて実践的に学ぶ。<br>キーワード:Rehabilitation、evidence-based practice、APA、reading statistics、oral presentation   |   |
| OATE327 | 国際リハビリテーション演習    | 2    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 随時   |        | リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員 | 目的・ねらい:国際学会発表や国際ジャーナルへの投稿論文執筆に関するスキルを向上することを目的とする。<br>授業概要:英語による学会発表用ポスターの作成、プレゼンテーション技法、アカデミックライティング力を向上するために、グループワークによる演習を行う。<br>キーワード:国際ネットワーク、国際比較研究、国際障害リハビリテーション関連学会  | 01EJ664と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。   |
| OATE328 | 質的研究法            | 1    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 集中   |        | 砂見 緩子                           | 目的・ねらい:基礎的な質的研究の手法を学び、研究設問に応じたテキストデータの分析能力を向上することを目的とする。<br>授業概要:グラウンデッドセオリー、修正版グラウンデッドセオリーアプローチ、KJ法、内容分析、ケース媒介法、テキストマイニング等、研究デザインに応じた質的分析の手法を選択する力を養う。<br>キーワード:GT、M-GTA、KJ、CM、TEM   | 01EJ665と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。<br>・日程等の詳細未定。決定後、筑波大学東京キャンパス在生サイト< <a href="http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >で周知します。 |
| OATE329 | 多変量解析法           | 1    | 1.0 | 1・2    | 通年   | 集中   |        | 荘島 宏二郎                          | 目的・ねらい:基礎的な多変量解析の手法を学び、量的研究における多様な統計処理能力の向上を目的とする。<br>授業概要:主成分分析、因子分析、重回帰分析、共分散構造分析等、研究デザインに応じた多変量解析の手法を選択する力を養う。原則として「統計学」の受講を前提とする。<br>キーワード:探索的因子分析、確認的因子分析、多変量分散分析、クラスター分析、重回帰分析、共分散構造分析、AMOS   | 01EJ666と同一。<br>・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在生にに限る。<br>・日程等の詳細未定。決定後、筑波大学東京キャンパス在生サイト< <a href="http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/">http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/stu_m/</a> >で周知します。 |